

# ともかわさきパラアートニュース

第5号 令和2年9月発行

## ともかわさきパラアート活動

社会福祉法人ともかわさきでは、地域における公益的な取組みとして令和2年4月からパラアート活動を行ってきました。「ともかわさきパラアート絵画展inパブリック」活動へはご賛同と協力をいただき事業所利用者の描いた絵画を公共視点のある場面に展示することができました。また、9月になり「パラアート絵画活動 in ひらま」活動もはじめられることになりました。これからもいろいろなパラアート活動の輪を広げていきたいと願っています。

### <パラアート絵画活動 in ひらま>

ともかわさきの「パラアート絵画教室」は、知的障害者を対象にした絵画活動をNPO法人 StudioFLATとの共同事業で行う「パラアート絵画活動 in ひらま」の始まりであり、実現しようと考えていた活動でしたので、実現できてうれしく思います。

9月3日(木)と9日(水)、10日(木)の3日間、なかはら障害福祉施設ひらまの会議室で、NPO法人 StudioFLAT理事長の大平様を講師に迎え、ともかわさき事業所「どりーむ」と「ひらま」、「StudioFLAT」の利用者が参加しました。

本格的な画材を使用しての絵画作成で、日が経つにつれてこの色使いたい、鉛筆で描く、など楽しそうに取り組む姿が見られました。出来上がった作品のいくつかは「COLORSかわさき2020展」に出品する予定です。

また、<川崎市障害者作品展>にも出展を申し込んでみようと思います。多くの作品を多くの方々に届けられる機会を増やしていきます。どのような成果が出てくるのかこちらも楽しみです。



教室の様子と画材と作品

## <アトリエひらま withFLATの開催>

“パラアート絵画活動 in ひらま”、事業、障がいのあるなしに関わらずアート活動で地域と交流を行うインクルーシブ絵画教室を10月3日(土)に開催します。会場はなかはら障害福祉施設ひらまの会議室、講師にはNPO法人 StudioFLATの大平理事長をお迎えします。

「これって? 9月の絵画教室とどう違うのかな?」

「そうですね、参加者を公募申込にしているところでしょうか。」

「することはかわりがないですね?」

「はい、今回は地域の事業所利用者や個人の方たちにもパラアート活動を楽しんでもらうために、ともかわさきが主催する絵画教室で、川崎市文化財団から後援をいただく予定です。」



社会福祉法人として“地域における公益的な取組み”に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

## <パラアート活用事業の兆し>

パラアート作品を活用したブランディング事業の始まりが始まりそうです。

まずは公共的な法人様から事業所利用者の作品をデザインした商品作製を受注することになりました。ありがとうございます。

## <ともかわさき事業所の製作品>

ともかわさきでは、従前から各事業所でいろいろな製品を作製して、事業所のバザーやふれあいバザール、ふれあい製品カタログなどでの販売を行っています。

たとえば、ポチ袋(かざぐるま) ブックカバー(わたりだ) 芳香剤(ひらま) 布サッカーボール(すえなが) クリップ(第1やまぶき) コースター(第2やまぶき) キャンドル(たちばな) 木のおもちゃ(ちとせ) 刺し子雑巾(あかね) 和紙はがき(なしの実)などを自主製作しています。



これらの製品の販路と認知度拡大を図るためにJR鹿島田駅、新川崎駅近くのパークタワー新川崎1階にある「新川崎タウンカフェ」にともかわさき専用の販売棚を借り常時販売するようにしました。法人ホームページリニューアル時にはネットショップも設けていきたいと思えます。